

新緑の中に パッ！

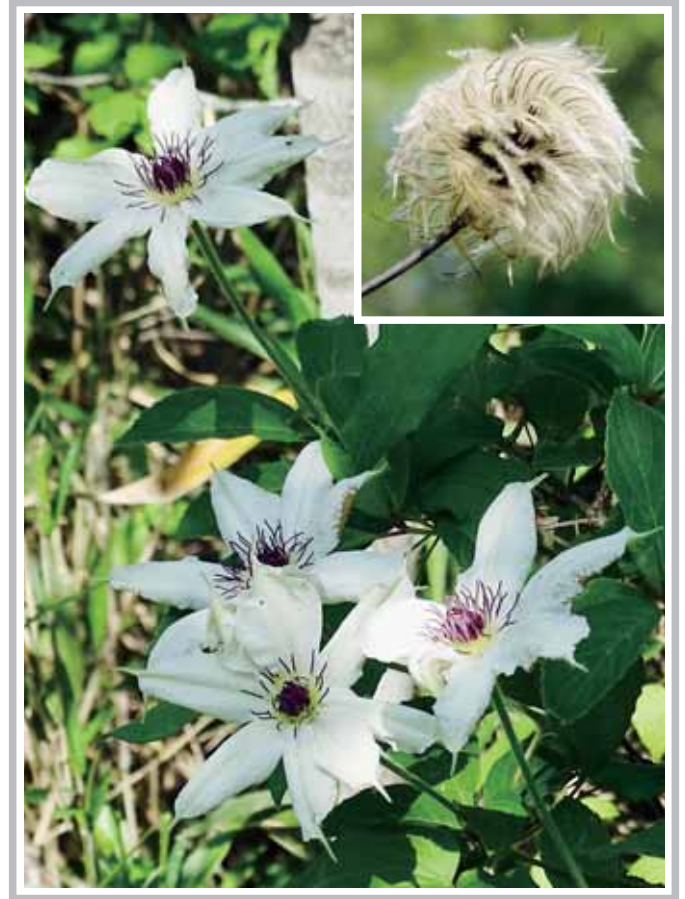
爽やかな朝。遊歩道を散策していると、道沿いに広がる鮮やかな新緑の中に、まばゆい白さを放つ風車のような姿をした花を見つけました。

名前はその姿の通り、カザグルマといいます。ツル性植物で、他の植物にからみ上がり、上向きに直径15cmほどの大きな花を咲かせます。その姿は白くて、大きくて、とてもエレガント。高貴な感じがして、まるで女王様のような風格すらあります。

しかしこの白く大きな花びら、実は花びらではなくがく片なのです。真ん中の多数ある紫色の部分は、雄しべで、100本以上もあるそうです。その雄しべは、外側から順に葯を開き、やがて中心にある雌しべが大きくなります。そして、秋になると羽毛が渦巻いたような種子が出来ます。(写真右上)

この種は、風で運ばれるのではなく野鳥などにくっついて広がるようです。発芽は早くて翌々年の春で、花(がく片)が咲くまで最短で2年半、普通は4年半かかります。種からこの姿になるには、ずいぶん長い時間がかかっているのですね。

珍しい植物ですが、自然保護の原則！「とっていいのは写真だけ」でお願いします。



森の日記

さよなら！「みどり号」

ちびっ子広場の「みどり号」は、小学校の遠足や休日の家族連れに親しまれた大人気の「木製舟形アスレチック遊具」です。

長年風雨にさらされ、劣化も激しく、毎年行う安全点検の結果でも要修繕箇所が増えてきていました。何度も修繕を繰り返してきましたが、5月のゴールデンウィーク後に解体・撤去となる予定です。

みどり号が完成したのは平成2年。遊んだ思い出のある方も多いのではないのでしょうか。最後の姿を見にぜひ陶史の森にお越しください。

その後は、新たな遊具設置計画があるようです。どんな遊具が完成するのでしょうか？楽しみですね。



教室のご案内

5月

陶史の森写生会 (要申込・雨天中止)

5月3日(火・祝)・4日(水・祝) 午前9時～午後3時
陶史の森の自然や動植物を絵画にします。
対象は、保育園児・幼稚園児・小学生です。
ネイチャーセンター内に展示し、入賞者には賞状・賞品を贈ります。
※画用紙と画板は用意します。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

5月22日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

6月

ミツバチ教室 (要申込・定員120人)

6月12日(日) 午前9時～11時30分
蜂蜜搾りを体験し、味わいます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

6月26日(日) 午前9時～11時30分
初夏の野鳥を観察します。

